

令和4年度 事業報告

今年度は、「志免町福祉総合計画」と協働策定した『第6次地域福祉活動計画』（令和3年度～令和8年度）の2年目になりました。

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、当会の活動については、感染対策を行いながら実施することが出来ました。

感染の長期化に伴い、度重なる延長が行われていた生活福祉資金貸付事業における「特例貸付」（新型コロナウイルス感染症の影響により減収がある方や失業した方に対する貸付）も多くの利用がありましたが、9月に終了となっています。

なお地域における福祉活動については、まだ新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、サロンなどの中止が続いている状況でしたが、それでも「つながり通信」などを活用した見守り活動は、多くの町内会でご活用していただきました。

また地域からの買物に困っているとの意見に対して、「移動販売お試し会」として、町内会と移動販売業者をマッチングし、体験して貰う取り組みを行うことが出来ました。

コロナ禍においても出来る活動を検討し、実施してきたことは今後通常の状態に戻った際にも活用して行けると考えております。

今後も当会は地域福祉活動に尽力する所存ですので、住民の皆様や各関係機関のご支援とご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

令和4年度の事業実施の状況について、次のとおり報告いたします。

令和4年度 志免町社会福祉協議会 地域福祉事業報告

1. 地域福祉活動や各種事業の充実促進

(1) ふれあいのまちづくり事業の推進

① 小地域福祉活動への支援

・福祉推進委員活動の推進

町内会で、おひとり暮らし高齢者や障がい者などの援護が必要な方への見守り安否確認活動を組織的に展開していただきました。

	令和4年度	令和3年度
見守りネットワーク組織化	30町内会	30町内会

・町内会長・福祉推進委員合同研修会

地域福祉活動を中心に担っている町内会長と福祉推進委員の方々に他の先進地区の活動を知っていただく機会として例年実施をしています。

今年度もシーメイトに講師を招いて開催しました。

開催日：1月17日（火）

講演：「苅田町における小地域福祉活動の取り組み」

講師：苅田町社会福祉協議会 地域福祉係 永松 泰貴 氏

実践報告：「葛川区の小地域福祉活動実践報告」

講師：葛川区小地域福祉活動推進委員会 会長 出口 正敏 氏

	令和4年度	令和3年度
参加者内訳	町内会長16人、 福祉推進委員24人、 他2人	町内会長18人、 福祉推進委員25人、 代理参加等3人
合計	42人	46人

・福祉協力員への支援

各町内会の福祉協力員の方々が、安心して福祉活動が出来るように保険に加入しました。

	令和4年度	令和3年度
福祉協力員	656人	628人

・見守りネットワーク活動推進の支援

各町内会の活動状況を確認すると共に、カレンダー配布や「つながり通信」等を通じて、見守り対象者等のお宅を訪問していただきました。

ハガキやメッセージカードを活用した見守りも引き続き提案しました。

・居場所づくり支援

居場所活動の周知啓発を目的とした「志免町の居場所事例集」の令和4年度版を作成しました。

・地域福祉活動費助成

7月に各町内会へ賛助会還元金として「地域福祉活動費」を交付しました。

・Zoom(ズーム)講座

「ふれあい・いきいきサロン」などの居場所活動が新型コロナウイルス感染症の影響で開催出来ない状況で、地域の活動者およびサロン参加者にZoomなどの使い方を学べる講座を呼びかけましたが、今年度申込みがありませんでした。

・地域の担い手講座

町内会を単位とした支え合い活動の活性化を図るため、町内会からの要望に応じて既存活動や新たな活動を行うための人材養成の講座を開催するとしていましたが、出前ふくし講座や認知症モデル事業で対応できたこともあり、申込みがありませんでした。

②住民参加による地域福祉事業

1) 地域福祉活動推進のための啓発普及

・四者合同研修会

地域の中核的役割を担っている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に地域福祉活動の必要性を理解して頂くために研修会を開催しました。

開催日:7月20日(水)

講演:「小地域福祉活動が持っている力」

講師:広川町社会福祉協議会 地域福祉係長 江口 信也 氏

	令和4年度	令和3年度
参加者内訳	町内会長 12人 民生児童委員17人 福祉推進委員 21人 理事・監事・評議員・顧問34人	町内会長 11人 民生児童委員17人 福祉推進委員21人 理事・監事・評議員・顧問34人
合計	84人	83人

・赤い羽根共同募金研修会（旧名称：四者合同会議）

赤い羽根共同募金にご協力を頂いている町内会長、民生児童委員、福祉推進委員、社会福祉協議会理事・監事・評議員の四者の方々に「赤い羽根共同募金運動」について説明を行い、町内会毎に街頭・法人募金の実施日程を協議いただいています。今回、3年振りに開催が出来ました。

開催日：8月19日（金）「赤い羽根共同募金運動について」

（県共募による講演、志免町での配分事業の説明、校区別協議）

	令和4年度	令和3年度
参加者内訳	町内会長 12人 民生児童委員16人 福祉推進委員17人 理事・監事・評議員・顧問27人	中止（研修資料を送付）
合計	72人	—

・町内会や関係団体等への出前ふくし講座

地域福祉活動やボランティア活動への理解と関心を深めていただくことを目的に、町内会などに出向き、レクリエーションや講話などを行っています。

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も開催の中止などがありました。

	令和4年度	令和3年度
回数	17回	9回
参加者数	386人	225人

・認知症サポーターキャラバン活動

「認知症サポーター養成講座」

地域包括支援センターや町内のキャラバン・メイトと協力して開催しています。

平成22年度から「認知症サポーター養成講座」を開催し、令和4年度迄で受講者数は延べ2,819人となっています。

新型コロナウイルス感染症のため、1回はオンライン開催で実施しています。

	令和4年度	令和3年度
回数	3回	—
参加者	67人	—

「志免町キャラバン・メイト連絡会」

第1回 5月17日（火）、第2回 2月24日（金）いずれもオンライン開催

「認知症モデル事業」

『認知症の方を孤立させないモデル事業』として、希望する町内会の呼びかけを行い、王子八幡町内会より希望があり、以下の内容を実施しています。

第1回 7月10日(日) 認知症サポーター養成講座【参加者32人】

第2回 9月25日(日) 講演「認知症の種類と症状、症状別の関わり方について」【参加者34人】

講師:緑風会水戸病院 看護師 尾上健介 氏・相談員 酒井重治 氏

第3回 10月30日(日) 認知症の方との関わりを事例を通して考える【参加者36人】

第4回 11月27日(日) 認知症になっても安心して暮らせる町を考える【参加者34人】

・第19回障がい者福祉啓発事業「やさしさのつどい」

例年、志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」、ボランティア連絡協議会と共催で「障がい」に関する啓発事業を実施しています。

今年度も感染対策を行いながら実施をしています。

開催日:11月23日(水・祝)10:00~15:00

内容:「劇団きらきら」公演、「ピュアハート」演奏会、ハートフルコーナーin しめ、「放課後等デイサービス・志免東中学校特別支援学級」作品展示、ふくし体験スタンプラリー(手話・アイマスク体験、点字紹介など)、写真同好会ひなたぼっこ作品展示、ものづくりコーナー

※参加者数は来場者・関係者を含む推計

	令和4年度	令和3年度
参加者	350人	250人

2) 在宅高齢者・障がい者等に対する福祉サービス

・在宅介護者のつどい

9月21日(水) 第1回介護講座

講演:「知っておきたい遺言や成年後見制度講座」

講師:司法書士 小嶋美夏 氏

2月 8日(水) 第2回介護講座

講演:「知って得する介護講座~介護にかかるお金の基礎知識~」

講師:福岡FPコンサルティング 土井健司 氏・久本 信治 氏

3月24日(金) 日帰りバスハイク

「海鮮処 寿司 海人」、「門司港レトロ」

令和4年度		令和3年度	
介護講座(第1回)	48人	介護講座	11人
介護講座(第2回)	29人	リフレッシュバスハイク	8人
リフレッシュバスハイク	7人	—	—
計	84人	計	19人

・福祉用具の貸出(車いす)

町内在住の方に向けて、車いすの貸出を行っています。

	令和4年度	令和3年度
貸出件数	75件	53件

3) 児童・青少年の健全育成

・中学生ボランティアスクール

志免町内の中学生を対象に、学習・体験を通して福祉について関心を高め、地域に住む人々の多様性を知り、ともに生きる地域の一員として、自分にできることを実践していこうとする姿勢を身につけることを目的に実施しています。

1日目 8月4日(木)9:30~15:45

「障がいに関する講話」(障がい者在宅介護支援センターすまいる職員)

「知的障がい・発達障がいの疑似体験」(福岡市手をつなぐ育成会保護者会)

「障がい者就労支援施設との交流」(野の花学園【オンライン】、あけぼの園)

2日目 8月5日(金)9:30~12:35

「障がい者就労支援施設PICFA(ピクファ)」との交流(エコバック作り)

	令和4年度	令和3年度
参加者数	4人	中止

・小中学校福祉教育連絡会

小中学校福祉教育担当者連絡会を年2回開催し、社会福祉協議会からのお知らせや各校の福祉への取り組みに関する情報交換などを行っています。

開催日:6月21日(火)・3月9日(木)

・小中学校への福祉教育費助成

学校における福祉教育にかかる費用について助成を行います。

	令和4年度	令和3年度
助成校	志免南小学校	志免南小学校
計	1か所	1か所

- ・小中学校福祉教育授業、チャレンジひろば等における出前ふくし講座
およびボランティア調整
「総合的な学習」等への企画提案や講師派遣の調整を行いました。

【社会福祉協議会職員による出前ふくし講座など】

開催場所	回数	内 容
8月18日(木) チャレンジひろば in 南 (24名)	1回	障がいについての講話、車いす体験
8月22日(月) チャレンジひろば in 東 (13名)	1回	障がいについての講話、車いす体験
9月2日(金) 志免西小学校 (4年生186名)	1回	・障がいについての講話、アイマスク体験
9月12日(月) 志免西小学校 (4年生186名)	1回	・障がいについての講話、車いす・高齢者 疑似体験
9月14日(水) 志免中央小学校 (5年生174名)	1回	「ふくしについて」「志免町について」の講話
計	5回	

【ボランティア調整】

開催場所	回数	内 容
9月9日(金) 志免西小学校 (4年生186名)	1回	ボランティア調整 手話の会(手話指導)
計	1回	

- ・福祉用具の貸出(車いす、点字板、点字ブロック、白杖、アイマスク)

開催場所	回数	内 容
志免中央小学校	1回	白杖、アイマスク、点字板、点字ブロック
計	1回	

・福祉教育教材「ともに生きる」の配布

福岡県社会福祉協議会で作成する福祉教育教材「ともに生きる」を希望する町内の小中学校に配布しました。総合学習の時間などに活用されています。

	令和4年度	令和3年度
福祉教育教材「ともに生きる」	210冊	415冊
福祉教育読本「ともに生きる」	0冊	40冊
計	210冊	455冊

・不登校・ひきこもり世帯の支援（不登校・ひきこもり家族交流会）

当事者同士の交流やニーズ把握を目的に定期的に家族交流会を開催しています。

第1回 5月28日（土）勉強会・交流会【参加者：9人】

講話：「ひきこもりの方への支援を知ろう」

講師：若者自立相談窓口 公認心理士・精神保健福祉士 平川大 氏

第2回 7月23日（土）勉強会、茶話会【参加者：9人】

講話：「親亡き後の生活を考える～生活困窮者支援の視点から～」

講師：くらしの困りごと相談室 支援員

第3回 9月17日（土）茶話会・交流会【中止】

第4回 11月19日（土）勉強会・交流会【参加者：8人】

講話：「青年期の発達障がいとひきこもり」

講師：臨床心理士 山川京子 氏

第5回 1月22日（日）茶話会・交流会【中止】

第6回 3月25日（土）勉強会・交流会【参加者：14人】

講話：「ひきこもりとお金～経済的な自立を考える～」

講師：くらしの困りごと相談室 家計相談員

	令和4年度	令和3年度
開催日	4日	中止
延べ参加者	40人	—

4) 高齢者、障がい者、児童・青少年等の社会参加

・「ふれあい・いきいきサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、主に高齢者とボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	令和4年度	令和3年度
東校区	田富、成和、向ヶ丘、志免三 松ヶ丘、東区〔6町内会〕	田富、成和、向ヶ丘、松ヶ丘 東区〔5町内会〕
南校区	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、石橋台 〔6町内会〕	桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台〔4町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、坂瀬、南里一、 南里三、王子八幡 〔8町内会〕	志免二、志免四、志免六 南里一、南里三、王子八幡 〔6町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡、 アネシス、御手洗、サンリヤン 〔9町内会〕	別府、別府一、別府三 御手洗、サンリヤン 〔5町内会〕
計	29町内会	20町内会

・「子育てサロン」助成

公民館など気軽につどえる場所で、子どもとその親、ボランティアや町内会役員などが共に企画・運営するサロン活動を行う町内会に助成を行いました。

	令和4年度	令和3年度
町内会	水鉛、志免四、南里二	志免四、南里二
計	3町内会	2町内会

・「新たな居場所活動」助成

町内会で開催される「新たな居場所活動」への助成を行いました。

	令和4年度	令和3年度
町内会	田富、松ヶ丘、向ヶ丘 桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、志免五 南里一、王子八幡、南里二 サンリヤン	田富、松ヶ丘、向ヶ丘 桜丘一、桜丘中央、桜丘南 石橋台、志免四、王子八幡 サンリヤン
計	13町内会	10町内会

・地域型「楽しく食べて語ろう会」助成

町内会で開催される「楽しく食べて語ろう会」への70歳以上ひとり暮らしの方の参加に対する助成を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の工夫をしながら、いくつかの町内会で開催されました。

	令和4年度	令和3年度
東校区	田富18人、成和12人 松ヶ丘11人	田富24人、成和16人 東区8人
南校区	水鉛6人、桜丘中央22人 石橋台14人	吉原3人、水鉛6人 桜丘中央17人 石橋台4人
中央校区	志免四11人、志免六20人 南里一6人、王子八幡44人	志免二5人、志免四9人 志免六20人、坂瀬79人 南里一3人、王子八幡45人
西校区	南里二19人、別府9人 別府一12人、別府二22人 別府三2人、鏡21人	別府二25人、別府三3人 鏡23人
計	16町内会 249人	16町内会 290人

・「ふくしの世代間交流」助成

高齢者や子どもなど、世代を超えて交流を図る行事を行う町内会に助成を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の工夫をしながら、いくつかの町内会で開催されました。

	令和4年度	令和3年度
東校区	—	—
南校区	吉原、水鉛、桜丘一 桜丘中央、桜丘南、 石橋台〔6町内会〕	水鉛、桜丘一、石橋台 〔3町内会〕
中央校区	志免二、志免四、志免五 志免六、南里一、南里三 王子八幡〔7町内会〕	志免二、志免四、南里三 〔3町内会〕
西校区	南里二、別府、別府一 別府二、別府三、鏡 アネシス〔7町内会〕	—
計	20町内会	6町内会

- ・志免町障がい児・者団体連絡協議会「こころのまど」活動への支援
「こころのまど」は、町内で活動する障がいのある当事者団体および家族会の計5団体で構成されています。団体間の連携を図りながら、障がい者福祉の啓発活動を行っており、その活動支援を行いました。

主な活動:バスハイク、定例会など

- ・障がい児・者団体、在宅介護者団体等活動への支援
「志免町障がい児・者団体連絡協議会『こころのまど』所属団体への支援」

○発達がゆっくりとした子どもたちの自立を支援する親子のサークル

「すてっぷくらぶ」

○障がいのある子もない子も共に演劇を!「劇団きらきら」

○ゆっくりっ子と家族が楽しむ「おはなし会げんき!」

○「ツモローの会」

○写真同好会「ひなたぼっこ」

- 「在宅介護者の会『すみれの会』への支援」

介護者の会「すみれの会」の定例会に参加するなど、活動に関する支援を行いました。

主な活動:定例会、バスハイク、新年会など

- ・レクリエーション道具、遊具、チャイルドシートの貸出

○レクリエーション道具、遊具の貸出

	令和4年度	令和3年度
件数	153件	26件

○チャイルドシートの貸出

	令和4年度	令和3年度
件数	34件	20件

5) ボランティア活動の促進

- ・福祉ボランティア入門講座

「福祉ボランティア入門講座～みんなで楽しくレクリエーション～」

志免町ボランティア連絡協議会と共催で開催しています。

開催日:2月14日(火)10:00~12:20

場所:総合福祉施設シーメイト1階「シーメイトホール」

講師:公益財団法人日本レクリエーション協会

公認レクリエーション・インストラクター

NPO法人福岡県レクリエーション協会名誉顧問 佐藤靖典 氏

	令和4年度	令和3年度
受講者	14人	4人
ボランティア連絡協議会会員	36人	12人
計	50人	16人

「傾聴ボランティア養成講座」

自宅で話を聞いてくれるボランティアの要望があり、傾聴を行うボランティアを養成する講座を開催しました。

開催日：2月17日・24日、3月3日（いずれも金曜日）

講師：FFAフォローシップ協会 理事長 福島健司 氏、他3名

参加者：25名

・志免町ボランティア連絡協議会活動への支援

福祉関係ボランティアの計8団体で結成された志免町ボランティア連絡協議会への活動支援を行いました。

・志免町ボランティア連絡協議会所属団体活動への支援

志免町ボランティア連絡協議会所属団体への活動支援を行っていますが、今年度も新型コロナウイルス感染症のため、団体活動が例年通りに出来ない状況がありました。なお今年度より「ハートフルコーナー支援隊クローバー」が新たに加入されています。

○志免町手話の会「指友会」

○志免テープの会「あじさい会」

○志免点訳サークル「ほたるの会」

○障がい児（者）を支える会「志免町 野の花会」

○視覚障がい者サークル「志免瞳の会」

○志免町赤十字介護奉仕団「ふきのとう」

○大道芸ボランティア「てまり一座」

○ハートフルコーナー支援隊「クローバー」 【合計8団体】

・町内のボランティア団体への支援

ボランティア活動保険の加入受付などを行いました。

・ボランティア関係機関との連携

まちづくり支援室と連携し、年3回の情報交換を行っています。

開催日：6月14日（火）、10月12日（水）、2月15日（水）

・ボランティア育成・福祉団体等への助成

ボランティアおよび福祉団体等への助成について、配分申請内容について配分審査会を設けることで、適正な助成に努めました。

※地域連携活動支援事業は、令和4年度から団体活動運営費に加えています。

助成対象事業	令和4年度		令和3年度	
	申請件数	決定件数	申請件数	決定件数
団体活動運営費	10件	10件	7件	7件
団体研修事業費	1件	1件	2件	2件
イベント事業費	3件	3件	1件	1件
備品購入費	1件	1件	0件	0件
地域連携活動支援事業	—	—	2件	2件
計	15件	15件	12件	12件

③福祉施設協働事業

・ふくおかライフレスキュー事業への参画

糟屋郡内の社会福祉法人が連携し、生活困窮者支援活動を行う「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、相談対応や会議（Zoomを含む）等へ参加しました。

④総合相談（法律相談・交通事故相談・福祉相談）

あらゆる悩みごとの解決の糸口を探すという観点から、他の相談機関とも連携し、住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言や援助で問題の早期解決、福祉の推進を図りました。その他、職員による福祉相談も随時実施しました。

	令和4年度	令和3年度
法律相談	24日 144件	17日 89件
交通事故相談	13日 16件	6日 6件

⑤広報活動の充実

・「社協だより」の発行と内容の充実

年4回発行（5月、8月、11月、3月）、他共同募金関係報告10月

・ホームページ、SNSの活用

ホームページ・SNS（フェイスブック）でお知らせや事業報告などを随時掲載しました。

⑥その他

・災害ボランティアセンター体制整備

志免町での大規模災害に備えた「災害ボランティアセンター」の実施に伴う体制整備として、糟屋地区内社協合同で「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を3月21日(火・祝)にシーメイトで開催しました。

・臨時食料品等給付・貸出事業

諸事情により、経済的に困窮し、食事の確保が難しい世帯を対象に、食料給付および調理器具などの貸出を行いました。

	令和4年度	令和3年度
給付・貸出世帯	33件	26件

(2) 受託事業

①福祉バス事業【役場福祉課より】

志免町内の団体が研修などをされる際に、バスを運行しました。

(有料道路・駐車場は利用者負担。)

今年度も新型コロナウイルス感染症のため、利用減少となっています。

	令和4年度	令和3年度
運行回数	65回	20回
利用者数	1,020人	373人
1回当たり	15.7人	18.6人

②外出支援サービス【役場福祉課より】

公共交通機関を利用することが困難な高齢者や、障がいのある方に対して、利用者の居宅と病院や福祉施設の間をリフト付車両にて送迎するサービスを行いました。

(※片道30kmの範囲迄。有料道路・駐車場で発生した料金は利用者負担。)

	令和4年度	令和3年度
高齢者	303回	239回
障がい者	53回	80回
合計	356回	319回

③障害者在宅介護支援センター事業【役場福祉課より】

・相談事業

障がいのある方が、自分らしく生活できるよう、ご本人・ご家族からの相談に応じ、情報提供や関係機関との連携など必要な支援を行いました。(相談無料。)

	令和4年度	令和3年度
相談延件数	3,119件	3,330件

・支援区分調査

介護給付の障害福祉サービス(ヘルパーなど)を利用するために必要な「障害支援区分」(1~6区分)の認定調査や概況調査(※)の委託を受け実施しました。

	令和4年度	令和3年度
調査数	110件	122件

※概況調査…訓練等給付の障害福祉サービス(就労移行支援など)を利用するために必要な調査。

・計画相談支援

障がいのある方への障害者総合支援法におけるサービス利用などの支援(サービス等利用計画作成)を行い、関係機関と連携し必要な支援を行いました。

(利用料金:無料)

	令和4年度	令和3年度
サービス利用支援等 (サービス等利用計画作成)	102件	102件
継続サービス利用支援等 (計画の実施状況把握)	296件	274件

④障がい者地域生活支援事業【役場福祉課より】

地域で生活されている身体・知的障がいのある方を対象に社会との交流などが出来て、生きがいを感じてもらえる「居場所」として創作活動などを行い、必要に応じて送迎も行っていました。

しかし、利用者の減少に伴い、令和4年度で廃止となりました。

	令和4年度	令和3年度
実施日数	240日	241日
利用延人数	258人	289人
1日平均利用人数	1.1人	1.2人

⑤生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)【役場福祉課より】

誰もが住みよいまちづくりを目指し、住民同士のつながりや活動を推進する「生活支援コーディネーター」(地域支え合い推進員)業務を行いました。

・協議体(地域ケア推進会議)への参加

第1回目開催日:7月6日(水)

テーマ:地域と事業所の連携の可能性について

第2回目開催日:2月13日(月)

テーマ:地域と事業所のつながりづくりについて

・地域での実態調査及び話し合いの場づくり(ふくしのまちづくりプロジェクト)
地域の福祉課題に対して、他分野の活動者や企業などと協働して問題解決を図ることを目的とした「ふくしのまちづくりプロジェクト」を行い、希望された町内会でアンケートを実施し、地域の福祉課題を把握して必要に応じて解決策等を話し合いました。

新規申請:0町内会、アンケート実施:1町内会、

話し合い:1町内会(4回)、継続支援:0町内会

・「地域の支え合い通信」発行(年2回)

協議体で話し合った結果や町内会が行っている取り組み等、生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動等を紹介しました。

・「志免町の居場所事例集」の作成・更新

志免町で行われている居場所などの情報を掲載した事例集を更新し、令和4年度版を地域福祉活動者や医療・介護専門職などへ配布し、周知しました。

・「社会参加・交流の場」の情報収集及び一覧更新

主に公民館で行われているサークル活動や自主的な活動の情報を集め、一覧の令和4年度版を更新しました。

・「つながり通信」の発行

医療・介護事業所やボランティアに協力いただき、自宅でできる体操や脳トレを掲載した通信を2か月に1回発行しました。

新しい生活様式にあわせた活動として、介護予防や見守り活動に活用いただけるよう町内会に提案しました。(17町内会 延5,705名)

・「移動販売試したCar」の開催

買い物支援の1つの方法として、移動販売のお試し会を町内会に提案しました。4町内会から申し込みがあり、事業所とマッチングができた3町内会で移動販売のお試し会を行いました。

⑥子育て支援事業【役場子育て支援課より】

母子・寡婦・父子家庭・産前産後の方を対象に、ご自宅に伺い、家事援助を行いました。

	令和4年度	平成3年度
活動延時間数	11時間	40時間

⑦生活福祉資金貸付事業【福岡県社会福祉協議会より】

低所得者、高齢者、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、在宅福祉および社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることを目的として、民生児童委員と社会福祉協議会が協力して運営している貸付事業です。令和2年度から新型コロナウイルス感染症のため、収入が減少した方や失業された方を対象に生計維持を目的とした「特例貸付」が開始され、令和4年9月まで継続されたことから、件数の増加が続いています。

	令和4年度(特例貸付のみ)	令和3年度(特例貸付のみ)
相談件数	379件(174件)	1,342件(1,245件)
申請件数	155件(114件)	724件(689件)
決定件数	153件(114件)	691件(654件)

⑧日常生活自立支援事業【福岡県社会福祉協議会より】

認知症、知的障がい、精神障がいのある方などで、判断能力が不十分なため日常生活でお困りの方を対象に、福祉サービスの利用や日常的金銭管理などのお手伝いをしました。

	令和4年度	令和3年度
契約件数	13件	11件
新規契約	7件	3件
解約	3件	2件
支援回数	210件	175回

⑨共同募金事業 募金事務代行【福岡県共同募金会より】

福岡県共同募金会志免町支会としての事務業務を実施しました。

2. 自主財源の確保

(1) 自主事業の経営と拡充

① 指定居宅介護支援事業

介護支援専門員(ケアマネジャー)による「介護保険」についての相談や申請代行、ケアプラン作成および各種サービス事業者との調整や連絡などを行いました。
(利用は無料)ケアマネジャー3人体制で取り組んでいます。

	令和4年度	平成3年度
ケアプラン作成	1,437 件	1,289 件

② 指定訪問介護(ホームヘルプサービス)・介護予防訪問介護事業

利用者のお宅にホームヘルパーが伺って、生活援助(掃除・調理・洗濯・買物など)や身体介護(入浴・排泄・食事の介助など)を行いました。
(利用料:介護保険のサービス単価に準ずる。)

	令和4年度	平成3年度
実施延人数	710人	629人

③ 指定通所介護(デイサービス)・介護予防通所介護事業

利用者宅に送迎を行い、デイサービスセンターにて食事や入浴、レクリエーションなど各種サービスを提供しました。また、ひきこもりがちな高齢者の社会参加や心身機能維持・向上を図るとともに、ご家族の身体的、精神的負担の軽減を図ります。(利用料:介護保険の負担割合に準ずる。食事代は実費負担。)

	令和4年度	平成3年度
実施日数	290日	293日
利用延人数	5,436 人	5,739 人
1日平均利用人数	18.7人	19.5人

④ 障害者(児)ホームヘルプサービス(居宅介護、同行援護、移動支援)

障害福祉サービスの受給者証を発行されている方のお宅に訪問介護員がお伺いし、身体的サービスや家事サービスを行います。

	令和4年度	平成3年度
活動延人数	159人	198人

⑤訪問支援サービス事業(独自事業)

介護保険・障害者総合支援法などを利用されている方が、制度外のサービスや制度を利用できない方に対して、在宅で自立した生活が出来るよう、適正なサービスを提供する事業です。

(利用料:生活支援 30分 1,000円～、身体介護 30分 1,500円～)

	令和4年度	平成3年度
契約者数	25人	14人
収 益	120,200円	59,200円

(2)共同募金運動の強化

募金への協力をお願いした結果、次の実績をおさめました。

新型コロナウイルス感染症のため、街頭募金は参加人数を制限し、法人募金も四者の皆様と同行してのお願いが出来ないなどもあり、目標額を下回る結果となりました。

	令和4年度	令和3年度
目 標 額	8,711,000円	8,737,838円
実 績 額 (内訳)	8,257,217円	8,710,221円
戸 別 募 金	6,948,935円	7,288,500円
法 人 募 金	882,118円	1,047,296円
有 志 募 金	79,000円	56,000円
街 頭 募 金	37,689円	—
学 校 募 金	98,551円	81,102円
箱 設 置 募 金	105,183円	113,665円
バ ッ ジ、図 書・ク ー ド 等	67,793円	88,312円
赤い羽根自動販売機募金	20,788円	17,136円
寄付付き商品	17,160円	18,210円

※寄付付き商品は、「Nino cafe」様の「赤い羽根ランチセット」の1セットを売り上げる度に30円を共同募金に寄付して頂いています。

(3)賛助会員の加入促進(口数)

社会福祉協議会の事業の充実を図り、「志免町に住んでよかった」という“ふくしのまちづくり”をめざすため、賛助会への加入を広く呼びかけています。

(賛助会費:1口 1,000円、特別賛助会費:1口 10,000円)

	令和4年度	令和3年度
口 数	4,554口	5,058口
金 額	4,554,000円	5,058,500円

(4) 町民、団体等からの支援（一般寄付・香典返し）

有志の方からのご厚意による、善意のご寄付や親族の方がお亡くなりになられた際のご香典の一部を事業運営に使わせていただいています。

	令和4年度	令和3年度
寄附金	12件 386,470 円	21件 400,725 円
香典返し	8件 345,000 円	3件 120,000 円
物 品	0件	0件

(5) 災害義援金の受付

当会で災害義援金の受付を行っており、令和4年度に受け付けた金額は以下のとおりになります。お預かりした義援金は、被災した県の共同募金会を通じて、被災された方々に届けられます。皆様のご協力、有難うございました。

- ・令和4年3月福島県沖地震 2,000 円
- ・令和4年台風15号災害静岡県 1,000 円
- ・令和4年8月3日からの大雨災害 3,110 円

(6) その他

①「栄光会ファミリークリニック」様からの寄付

「栄光会ファミリークリニック」売店きらり横の休憩スペースに「志免町社会福祉協議会支援自販機」を設置していただき、この自販機で商品を購入すると、売り上げの一部が当会に寄付される仕組みになっています。

	令和4年度	令和3年度
金 額	10,745 円	12,736 円

②「QTnet」（キューティネット）様からの寄付

「QTnet」様から、毎年自動販売機の売り上げの一部を寄付していただいております。

	令和4年度	令和3年度
金 額	42,503 円	46,373 円

3. 介護保険事業、障害者総合支援事業の拡大と推進

(1) 自主事業の安定経営と財源確保

- ・制度改革にも対応できるサービス構造への転換
定期的に会議を行い、今後の経営についての話し合いや、制度の情報共有等に努めました。

- ・従事者の研修、勉強会の参加と資質の向上
職場内では各部署で人権研修を実施し、必要に応じて外部研修（Zoomを含む）に参加しました。

- ・事業所間の連携によりサービスの向上
介護保険事業所間で定期的な情報交換を行うなどの連携を行い、サービスの向上に努めました。

4. 社協の組織体制強化

(1) 理事会・評議員会および専門部会の開催

- ・理事会・評議員会の開催
理事会3回、評議員会2回

- ・専門部会の開催
総務部会1回、財政部会2回、広報部会4回、福祉部会1回

(2) 役職員の研修会参加と勉強会実施、職員の資質向上

- ・役員：四者合同研修会（地域福祉活動）および赤い羽根共同募金研修会の研修を実施しました。

- ・職員：各部署でオンラインでの人権研修を実施し、必要に応じて外部研修（オンライン含む）に参加しました。